

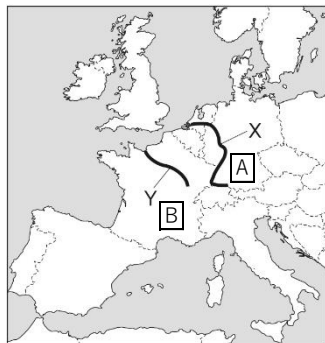
基本問題

- ① アルプス山脈より南側の地域では、雨が少ない夏には乾燥に強い作物が栽培され、雨が冬には小麦などが栽培されている。このような農業を何というか。
- ② アルプス山脈より北側では、畑作と家畜の飼育を組み合わせた農業がおこなわれている。このような農業を何というか。
- ③ 北海沿岸・アルプス山脈では、牛や山羊（やぎ）などを飼い、乳や乳製品を作る農業がおこなわれている。このような農業を何というか。
- ④ 世界有数の小麦輸出国であり、EUの穀倉とよばれている国はどこか。その国名を書きなさい。
- ⑤ 石炭資源とライン川の水運に恵まれて発達した、ドイツに位置する工業地域を何というか。
- ⑥ ヨーロッパ各国では、石油や石炭などの資源に頼らない再生可能なエネルギーの利用が進められている。その具体的なエネルギーの例を3つ書きなさい。

①	地中海式農業	②	混合農業	③	酪農	④	フランス
⑤	ルール工業地域	⑥	(例) 風力、太陽光、地熱、水力、バイオマス (などのうち3つ)				

発展問題

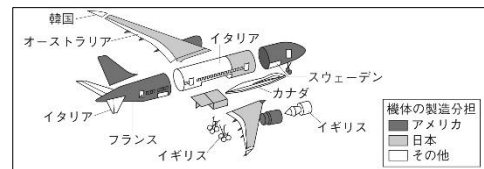
地図



(注) 国境は一部省略している。

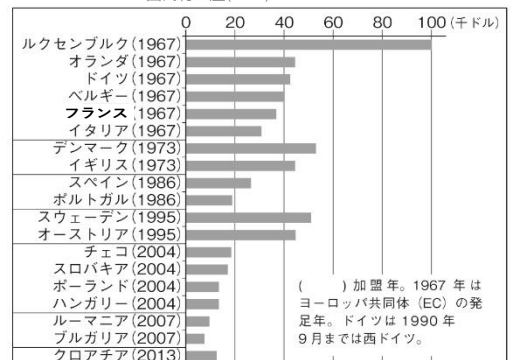
資料1

ボーイング 787 の機体の製造



資料2

おもなEU加盟国の加盟年と国民一人あたりの国内総生産(GDP)



(「世界国勢図会 2017/18」より作成)

- ① 地図中の A、B にあてはまる国を、それぞれ国名で答えなさい。
- ② 地図中の X、Y にあてはまる河川名をそれぞれ書きなさい。
- ③ 資料1の「ボーイング787の機体の製造」から、ヨーロッパでの航空機生産における特色を書きなさい。
- ④ 資料2から、EUに2004年以降に加盟した国々には、どのような共通点があると分かるか。その内容を、EUへの加盟年が古い国々と比較して書きなさい。
- ⑤ 資料2から分かる、EU内での課題を書きなさい。

①	A	ドイツ	B	フランス	②	X	ライン川	Y	セーヌ川
③	(例) 主にEUに加盟している国々が国境を越えた技術協力を行い、分業して共同生産をしていること。								
④	(例) 国民一人あたりの国内総生産が、古くから加盟している国と比べてとても低いこと。								
⑤	(例) EU内で経済格差が生まれていること。								